

N I E 実践報告

霧島市立国分小学校

1 はじめに

本校は、霧島市の中央に位置し、全児童878名の学校である。

今年度で、NIE実践指定校として研究をはじめて3年目となる。新聞を活用することは、学力の向上につながるとともに、子どもたちの世の中の出来事に関する興味・関心を高めていけると考え、全学年で実践に取り組んでいる。

2 テーマ

新聞に親しみ、主体的に活用する子どもの育成

3 実践内容

- (1) N I E タイム (ファミリーフォーカス) の実施
- (2) N I E コーナー(新聞閲覧)の設置
- (3) 情報・掲示委員会としての取り組み
- (4) 授業の実践
- (5) 新聞社(ひろば欄)への投稿

4 研究の実際

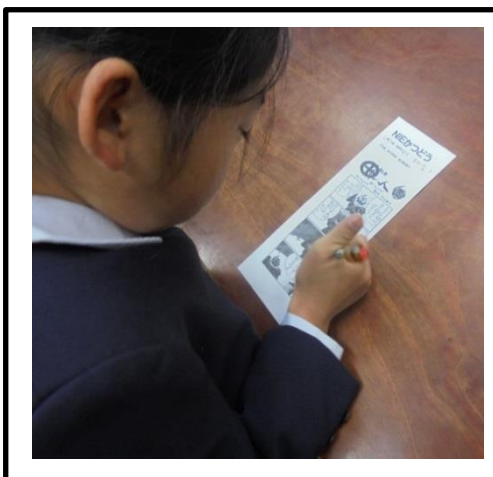
(1) N I E タイムの実施

月1回、朝の活動の時間に「N I E タイム」を設定し、新聞を活用した取組を行った。内容は、それぞれの学年の実態を考慮しながら取り組んだ。さらに、その時間に使ったワークシートを学年・学校の掲示板に掲示し紹介することで、次の活動への意欲化を図った。

- [低学年]・・・
- ①新聞から知っている字を探して印をつける。(平仮名・カタカナ・漢字)
 - ②四コマまんがの吹き出し(セリフ)を、イメージを膨らませながら書く。
 - ③記事をワークシートに視写する。
 - ④季節に関する記事(写真)を見せて、考えを書く。

☆活動の様子☆

☆掲示板☆



- [中学年・高学年]・・・①新聞記事を読み、その記事に対する自分の思いや考え等を
100字から150字程度の文章で書く。
②新聞記事をもとに作られたワークシートの問題を解く。
③まちがい探し(南日本新聞 クイズコーナー)

☆活動の様子☆



☆掲示板☆



(2) N I E コーナー(新聞閲覧)の設置

本校4棟2階にあるオープンスペースに新聞閲覧コーナーを設置し、子どもたちが進んで新聞を読める環境をつくった。朝の時間や昼休みの時間を中心にN I E コーナーに集まり、じっくり時間をかけて新聞を読んでいる姿が見られた。新聞は、新聞社ごとに分けて、日付順に並べてあり、自由に手に取って読むことができる。それ以前のものは、ロッカーに保存し記事をさかのぼって探せるようにしている。



(3) 情報・掲示委員会としての取り組み

情報掲示委員会の活動の一環として、「今月の喜怒哀楽」と題し、「喜・怒・哀・楽」の4つのテーマから選んだ記事をもとに、見出しと感想等を書き、NIEコーナーに掲示した。国分小の子どもたちが、どんなことに興味をもっているか考えながら記事を探し、関心をもって読んでもらえるように感想を書いていた。

☆活動の様子☆

☆今月の「喜怒哀楽」☆



(4) 授業の実践

(ア) 教科

① 4年生の実践（国語科）

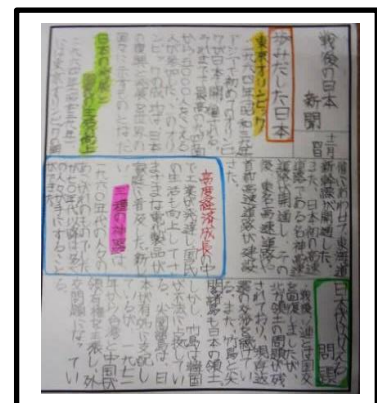
「新聞を書こう」

新聞の編集のしかたや記事の書き方を学習した。南日本新聞社の岩松さんに来校してもらい、見出しや目次、リード文等新聞について話をいただいた。その上で、当日の新聞を見て好きな記事を選び、自分が記者になったつもりで記事を書いた。



② 6年生の実践（社会科）

6年生では、社会科(歴史)で学習したことのまとめとして、歴史新聞を作成した。新聞を作成する上で、大切なポイント(見出しのつけ方・5W1H)を指導した。社説では、戦争に対する自分の考えや平和を願う思いなどが書かれていた。完成した新聞を互いに交流することで、学習したことをさらに深めることができた。



③ 総合的な学習の時間

第6学年の総合的な学習の時間「熊本を知ろう」の単位では、「修学旅行の自主研修で調べたこと」をテーマに新聞づくりを行った。事前学習では、南日本新聞社の平峯記者に来校してもらい、どんな情報を知りたいかを事前に考えてインタビューすることや、写真を撮るときの意図、調べたことをどのように記事に書くか等、詳しく話をしていただいた。その後、実際に熊本を訪れ、自分たちの課題に沿って取材を行い、新聞にまとめた。構成の仕方や見出しの工夫のアドバイスにより、自分たちの考えや伝えたいこと、写真を選んだ理由等を明確にすることができた。



(5) 新聞社(ひろば欄)への投稿

新聞に親しみをもつために、「ひろば」への投稿を行っている。掲載されることで、新聞をより身近なものに感じている様子が見られた。

5 成果と課題

[成果]

- N I Eタイムの取り組みや、各学年の作品掲示を通して、子どもたちが新聞に興味・関心をもつとともに、文章を読んで自分の考えを書く力が身についた。
- N I Eタイムの取組の1つである「ファミリーフォーカス」を通して、親子で意見を出し合い、考えを深める活動ができた。また、親子のコミュニケーションを深めることができた。
- 国語科や社会科・総合的な学習の時間で調べたことを新聞にまとめる学習を通して、調べてわかったこと、考えたことをわかりやすく表現する力を高めることができた。
- N I Eコーナーを設置し、環境を工夫することで、子どもたちが新聞をより身近に感じられるようになり、子どもたちの社会の出来事に対する興味・関心が高まった。

[課題]

- 学年ごとのN I E担当の連携をより密なものにし、各学年の発達段階に応じた新聞活用について、常に共通理解を図る必要がある。
- 新聞社とより連携を図りながら、より多くの教科・領域で、新聞を活用した授業を、積極的に実践していく必要がある。
- 新聞社(ひろば欄)への積極的な投稿を継続していきたい。
- これまでの取組を継続して実践していくとともに、さらなる新聞活用の研究を重ね、子どもたちの学力向上に根ざした取組を新たに実践していきたい。